

第22回河北潟クリーン作戦 結果（4/18速報値）

地点	参加者人数	ゴミ量 m ³	特記事項
金沢市（才田）	139	10.0	昨年に引き続きゴミは少なかった。沿岸部では発泡スチロール、ペットボトルなど軽いゴミの他、タイヤ4本、ビールケースなど。干拓地では冷蔵庫1の他は発泡スチロールなど流れ着いたゴミ
金沢市（八田）	85	16.0	悪質な不法投棄として消火器20台があったが、タイヤはなし。大型ゴミは2割程度で、その他は上流からのゴミとポイ捨てゴミが多い。
内灘町	-	-	現地（内灘町役場）の判断で中止
津幡町（湖南）	43	8.5	タイヤ7本、その他不法投棄の大型ゴミとして切断されたFRPボート1台、ポイ捨て、流れてきたペットボトルが多い。
津幡町（漕艇場）	77	4.0	タイヤ1本（前回17本）で大型不法投棄は少なかった。流れてきたプラスチック系のゴミが多い。
かほく市	138	1.0	全体としてゴミは少ないが、プラスチック類2/3、缶・瓶類1/3。またチューブ類など産廃系のゴミが目だった。その他、消化器1台、蛍光灯直管10
合計	482	39.5	参加者数は82%、ゴミの収集量は昨年比60%であった。中止した内灘町を除くと参加者101%、ゴミ68%となり、天候が悪かった割には参加者が多かった。また、かほく市は参加者が昨年の2倍であった。ゴミは津幡町を除くと減少傾向で、大型不法投棄が減ってきている。津幡町では流れてくる軽いゴミが集まりやすく、取りきることはできなかった。上流から流れてくるゴミも多いと思われ、流域全体の対策が必要。一方かほく市ではゴミが少なく、市町横断的な人員配分が必要となっている。